

常任委員会報告

3月12日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会 (3月18日)

質問 議案第30号 令和6年度小城市一般会計予算のうち総務常任委員会が所管するものについて、(歳出)2款 総務費 1項 総務管理費 6目 企画費 ふるさと納税推進事業について、ふるさと納税は前年度と比較し、1億1千6万6千円減少して計上されているが、ふるさと納税推進事業は減額して大丈夫なのか。

答弁 募集適正基準が厳格化され、経費率を5割以下に抑える必要があったため、できる限り経費を抑えた。

質問 (歳出)2款 総務費 1項 総務管理費 8目 情報政策費 情報システム等運用・管理事業について、行政手続のオンライン申請機能の拡張で、どのようなことが新たにできるようになるのか。

答弁 SNSを活用したオンライン申請の構築等を考えており、現時点で考えられるものは、住民票、税務課の証明証等のオンライン申請、確定申告の受付、粗大ごみの受付等を予定しており、上半期に構築をして、下半期に稼働を考えている。

質問 (歳出)4款 衛生費 2項 清掃費 1目 ごみ処理費 廃棄物中継センター施設整備事業について、工事期間中の受け入れはどうなっているか。

答弁 受け入れをしながらの工事を想定している。



▲改築予定の廃棄物中継センター

討論は「議案第7号」、「議案第30号」、「議案第31号」及び「議案第32号」に対して討論があった。また、「議案第30号」について賛成討論があった。

当委員会に付託された全議案について、可決すべきものと決定した。

文教厚生常任委員会 (3月19日)

質問 議案第24号 令和5年度小城市一般会計補正予算第10号養護老人ホーム施設入所措置事業について1千万3千円の減額理由は。また、判定委員会は何回開催されたか。

答弁 予定した人数より少なかったための減額。判定委員会は2回開催した。

質問 議案第30号 令和6年度小城市一般会計予算在宅高齢者配食サービス事業について、約500万円の減額理由は。また、利用者の負担金は変更ないか。

答弁 事業者の変更に伴うもの。利用者の負担金の変更はない。

質問 扶助費について、生活保護費支給事務が増えているが、増加傾向か。

答弁 生活扶助は横ばいだが、受給者の高齢化や高額な医療がかかる方がいるということで医療扶助が増加している。

質問 市立中学校の部活動指導員活用事業について、指導員の配置はどうなるか。

答弁 4名から令和6年度は8名に増員する。今交渉中で配置はまだ未定。保護者からの要望等あれば学校とも相談し、増員することもある。

質問 学校支援員事業は、昨年の約2倍の額になっているが、その理由は。

答弁 小城中学校と三日月中学校の2名配置からプラス牛津中学校まで3名の配置に増員するため。

質問 議案第34号 令和6年度小城市病院事業会計予算について、予算具現化のための考え方は。

答弁 コロナ禍でいろいろな面で疲弊しているが、循環器リハビリテーションの立ち上げ等新しい診療部門を加え活性化していく。

産業建設常任委員会 (3月21日)

質問 議案第30号 8款 土木費 移住、定住対策事業について、令和5年度補正予算から令和6年度予算で減額になっているものとは、また、令和6年度当初予算での取り組みは。

答弁 空き家改修費助成事業補助金が630万円から400万円、地方創生移住支援事業補助金が360万円から300万円となっている。対応については、移住、定住対策事業は市報やホームページで知らせており、建設業協会や宅建業協会にチラシの配布を依頼して周知に努めている。

質問 道路橋りょう費、安心橋は期間が長かかっているが、計画と状況は。

答弁 現在、下部工事と護岸の整備を行っている。終わりに次第上部工事を行って、令和6年度中に完成する計画。

質問 6款 農林水産費 環境整備事業は要望が多くあると認識しているが、令和5年度と比較すると事業費が減っているが何ヶ所計画か。

答弁 一般財源で行っている事業であり、ゼロベースで見直しを行い、緊急度も勘案して当該地区を選定している。施工場所は、堀江水路、峯地区の排水門を予定している。



▲令和6年度完成予定の安心橋